

家具転倒防止対策 大地震から命を守る —まず、やるべきこと—



「あなたはいつから
始めますか？」

我が家の防災対策はできていますか？

川崎市地震被害想定調査結果(平成25年3月)によれば、マグニチュード7.3の川崎市直下型地震が冬の夕方6時に発生した場合、麻生区内の死者数は43人、負傷者数は1,148人と想定されています。その原因の大部分が「建物の倒壊」と「家具の転倒」と「火事」です。

地震の直撃で死傷しないことが大事

大地震への備えと言えば、水や食料、防災グッズの確保に関心が向きがちですが、それらが役に立つのも、大地震が起きたときの「身の安全」が確保された上でのこと。起きる前の十分な対策、そして起きてからの適切な行動で、「地震が起きても死傷しないこと」が大事です。

「大地震への備え」で本当に大切なこと

- ・家がつぶれないこと
- ・家具や家電製品の下敷きにならないこと
- ・火災が発生したとき、火が大きくならないうちに消すこと

助かる命を守る

大地震が発生しても、命を落とさないためには、事前に取り組み易く、効果の高い「家具の転倒防止」対策を実施しておくことが不可欠です。これが「助かる命を守る」につながる大切な第一歩です。

地震が起きる前にできること

このパンフレットは、誰でもすぐ簡単にできる「家具や家電製品の転倒、落下防止対策」について分かりやすく解説しています。このパンフレットを読んで、あなたと大事な人の命を守るための対策を今から始めましょう！

我が家の中で命を
落とさないために！



幼いお子さんの
ために！



高齢の方の安全
確保のために！



家具の転倒防止こそが命を救う！

家具転倒防止対策のチェックポイント

● 安全な「住まい方」をめざしましょう

寝る場所、座る場所、避難通路に家具や家電製品が倒れてこないか確認しましょう

家具や家電製品の転倒によって人への被害を出さないよう、今の住まい方(家具の位置、寝る場所など)を変えてみましょう。

● 家具は間柱や梁などにしっかり固定しましょう

家具や家電製品が、間柱や梁、柱などに固定できているか確認しましょう

木造家屋の天井や石膏ボードの壁は強度が低い
ため、間柱や梁などに固定すると効果的です。
(3、6ページ参照)

● 滑り止めの対策をしましょう

滑り止めシートを家具や家電製品の下に敷きましょう

家具の固定と滑り止めを併用すると効果的です。
テーブルや小さな家電、食器などは、単独で
使っても一定の効果があります。(4ページ参照)

● 配置を変更する場合でも固定しましょう

家具の買い替え、子どもの独立など、家具の配置の変更が
想定される場合でも、固定しましょう

家具の配置が変わる場合、取り外しが簡単で移動時に
便利な方法もあります。
(3～5ページ参照)

● ガラス飛散防止や落下物への対策をしましょう

避難通路を確保するために、食器棚等にガラス飛散防止フィルムを張ることや、壁掛け、
置物などを固定することも必要です。



～家具転倒防止対策モデル事業～

平成25年度に区内19戸の協力家庭で、専門技術者の支援により
家具転倒防止工事を実施しました(麻生区区民会議主催)。



【モデル事業の結果】

○ 安心感が高まった

協力家庭へのアンケートから、95%の世帯が「家具の転倒への不安感が減り、安心して生活できるようになった」、79%の世帯が「ご近所、知人、友人にも家具転倒防止の有効性を伝えようと思った」と回答されました。

○ 簡単に家具固定ができることが多い

モデル事業では、様々な工法で家具転倒防止工事を行いました。その結果、個人でもコツをつかめば簡単に実施できる工事が多かった一方で、マンションの躯体壁へのビス打ちなど専門的な器具や技術が必要な場合もあり、工事の難易度に幅がありました。

○ 専門技術者(大工、工務店など)との対話が大切

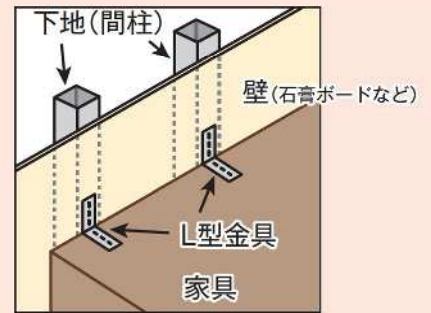
工事を専門技術者に依頼するときは、住まい方に合った効果的な工事を実施してもらうため、専門技術者に事前調査と説明、対話をしっかり行ってもらう必要があります(相談窓口は8ページを参考にしてください)。

※このパンフレットでは、家具転倒防止対策モデル事業で実際に施工した方法を中心に紹介しています。家具転倒防止の効果は、地震の揺れ方、家具や家の構造、工事の仕上がり具合などにより異なります。

家具・家電製品の転倒防止方法

具体的な家具、家電の転倒防止方法を紹介します

◆ L型金具による固定 ◆



- ・壁の中の間柱(まばしら)を下地探し器(6、8ページ参照。購入又は区役所で貸出)で探してネジ止めをします。
- ・家具側も造りをしっかり見極め、天板などの強度のあるところで止めます。
- ・金具の大きさ、ネジ穴の位置、形状など様々な種類があります。1個150円程度からです。
- ・木造住宅以外(軽量鉄骨造など)の壁へのネジ止めは、大工さん、工務店に相談しましょう。
- ・マンションの場合は、管理規約などによる制約や手続きが必要となる場合があります。

◆ アイプレート(金具)による固定 ◆



- ・壁と家具にネジ止めします。
- ・L型金具と同様に壁側、家具とも強度のあるところに取り付けます。
- ・1個300円程度からです。
- ・アイプレートは、写真のように、結束バンド(又はワイヤー、ターンバックル)と組合せて使います(P4参照)。

◆ マウントベース(プラスチック製の留め具)による固定 ◆



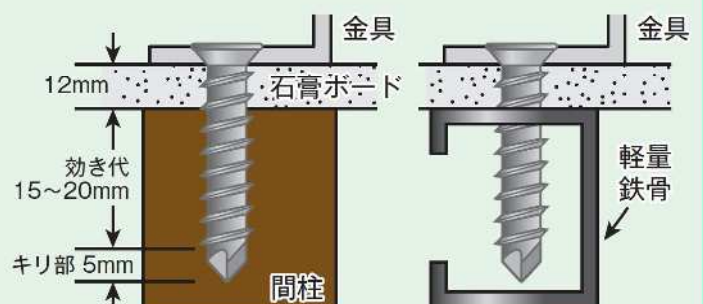
- ・L字型金具と同様に、ネジなどで、壁側、家具側とも強度のあるところに取り付けます。
- ・マウントベースは結束バンドやワイヤー、ターンバックルと組合せて使います(P4参照)。
- ・1個50円程度からです。

◆ 使用するネジについて ◆

- ・木の間柱や家具には木割れを防ぐため、下穴をあけてから木ネジを使いますが、先端がキリを兼ねたドリルネジならそのまま立てられます。
- ・間柱が軽量鉄骨の場合は、木ネジは立たないのでドリルネジを使います。
- ・使用ネジの径は3.5~4mmで15~20mmの効き代のものを使います。間柱に立てるときには石膏ボードの厚み12mmとドリルネジの先端5mmを足してネジ長さを選びます。
- ・小型電動ドライバー(6ページ参照)が便利でおすすめです。

【間柱が木の場合】

【間柱が軽量鉄骨の場合】



◆ 結束バンド(長さが簡単に調節できるプラスチック製のベルト)による固定 ◆



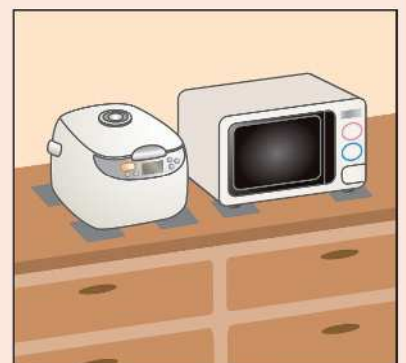
- ・ ケーブルタイとも言います。
- ・ 様々な長さがあります。
- ・ アイプレートやマウントベースを壁と家具に取り付け、両方をつなげる形で使います。
- ・ 何回も取り外しできるものと1回限りのものと2つのタイプがあります。
- ・ 1袋100本入りで、700円程度からです。

◆ ターンバックル(長さが調整できるネジ式の金具)による固定 ◆



- ・ 結束バンドやワイヤーの張りや長さの調節に利用できます。
- ・ アイプレート、マウントベースを壁と家具に取り付け、結束バンド、ワイヤー等と組合せて使います。
- ・ 様々な大きさがあり、取り外しができます。
- ・ 15cm程度で300円程度からです。

◆ 滑り止め(ノンスリップ)シートの使い方 ◆



- ・ 大地震の時、テーブルや家電製品は、フローリングの上をはねたり滑ったり、高い置き場所からすべり落ちるので、「滑り止めシート」の活用は意外と有効です。
- ・ 他の転倒防止対策と組み合わせて使うと効果的です。
- ・ 食器棚、テーブル等の家具の下や電子レンジ、炊飯器等の家電製品の下にも敷きます。
- ・ 30cm四方の大きさのものを用途に合わせて、自分で切って使います。
- ・ 30cm四方のもの4枚入り1袋で、3,000円程度です。

◆ キャスターストッパー(キャスターホルダー)による固定 ◆



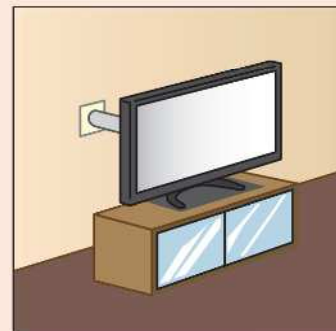
- ・ テレビボードやパソコンラック等のキャスター付家具に使います。
- ・ 様々なサイズがあり、キャスターの大きさに合わせます。
- ・ ストッパーの底面に「滑り止めシート」をストッパーの形状に合わせて貼ると効果的です。
- ・ 小さいもので1個200円位です。

◆ くさびによる固定 ◆



- ・ 木材で作ります。
- ・ 家具が前に倒れようとするとき「締まる」ので、ガッチリ止めてくれます。逆方向にトンと叩けば簡単に外れます。
- ・ 冷蔵庫等、将来買い替えが予想される家具、家電製品の固定に便利です。
- ・ 材料費は安く済みますが、固定場所に合わせた寸法に切ることがポイントです。斜めの角度も大事ですので、写真を参考にしてください。

◆ マジックテープによる固定 ◆



- ・ 家具やテレビ等と壁との間にすき間がある場合、板や紙筒とマジックテープで固定します。
- ・ 紙筒などの両端に数cm切り込みを入れて開き、マジックテープに貼り付けます。
- ・ 取り外しが簡単なので、お掃除の邪魔になりません。
- ・ マジックテープは10cm四方で500円程度からです。
- ・ この方法で固定できるのは小型の家具や家電で、単独ではなく滑り止めシート等と併用してください。

◆ 木材を利用した様々な工夫 ◆



タンスが前に飛び出さないよう
鴨居に木材を取り付けた例



三連式家具と壁側の固定位置がず
れているため、まず壁に補強木材
を取り付け、それに家具を固定し
た例



マンションで家具と梁の間を板と
小型ジャッキで固定した例。
複数のジャッキの上部と梁の間に
板を挟むことで、面で家具を支え
ることができます。

◆ あれば便利！お助けアイテム ◆

下地探し器(下地センサー)



※区役所で貸出(8ページ参照)

- ・壁側の固定位置(間柱)を探すのに便利。
- ・センサー式(左イラスト)は3,000円程度から。
- ・針で探す方式(中央イラスト)は1,500円程度です。

リフター



- ・家具の下にノンスリップシートを差し込む時など、重い家具を持ち上げるのに便利です。
- ・1個1,500円程度です。

ボール(金てこ)

- ・家具の持ち上げに使います。
- ・大きさ、材質が様々あります。
- ・1本1,500円程度からです。



電動ドライバー

- ・金具のネジ止めに便利です。
- ・高価な充電式でなく、コード式(トルク調整・クラッチ機能の付いたもので4,000円程度から)で十分です。



家が倒壊しないことが助かる大前提！

「木造住宅耐震診断士派遣制度」

昭和56年5月31日(新耐震基準の導入)以前に建てられた建物は、耐震性が低い可能性があります。一度、耐震診断を受けてみましょう。川崎市では一定の条件を満たしている住宅の耐震診断を耐震診断士派遣により無料で行っています。インターネットで簡易診断ができます。

(参考)「誰でもできるわが家の耐震診断」(日本建築防災協会)

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wagaya.html>

「木造住宅耐震改修助成制度」

昭和56年5月31日以前に建てられた建物で耐震性が低いものについて、耐震性を高めるための工事にかかった費用の一部を助成します。

※問い合わせは、川崎市役所まちづくり局指導部建築管理課耐震化支援担当へ
(☎044-200-3017)

※建物倒壊の対策は、耐震改修が最も効果的ですが、最小限の安全なスペースを確保するため、様々なタイプの耐震シェルターが開発されています。費用は設置費用込みで40万～50万円程度からです。



初期消火は自分たちの手で！

地震発生時、「死なない」ために大事なことのひとつに「火災発生への対応」があります。

出火してすぐの小さな火であれば、自分たちで消火しましょう。

そして、手に負えないと思ったら、そこから逃げて自分の命を守ることが大切です。

消火器、住宅用火災警報器の設置

- 消火器は初期消火の道具として最も一般的で身近なものです。
- 消火器の使い方はラベルに書いてありますが、いざという時に使えるように地域の消火訓練等に積極的に参加し、使用方法を確認しましょう。
- 平成23年6月1日に住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、麻生区ではまだ4戸に1戸程度が未設置です。
- 火災から命を守るためにも、消火器や住宅用火災警報器の設置を進めましょう。



隣り近所との初期消火への取り組み

- 初期消火の段階で隣り近所の方々と協力しあうことは、大切なことです。

「通電火災」を防ぐために

- 地震による停電から復旧した時に発生する「通電火災」を避けるために、避難する時にはブレーカーを落としておくか、「感震ブレーカー」を設置しましょう。
- 「感震ブレーカー」には様々なタイプがあります。

さあ！まずはお宅の家具転倒防止から！

家族と一緒に防災

防災対策は日頃から「やらなければならない」と思いつつ、なかなか取り組めないものです。

そこでこれからは、お子さんやご家族と一緒に考えながら、楽しみながらやってみてはいかがでしょうか。家具・家電の転倒防止対策では、家具の配置を考えたり、滑り止めシートを敷くこと等、お子さんと一緒にできることがあります。

地域コミュニティでの助け合い

みんなで守る向こう三軒両隣

大地震が発生し、本格的な支援体制が整うまでは、ご近所との「助け合い」が不可欠です。そこで大切なことが、日頃からのお付き合いです。ご近所との日頃からのコミュニケーションを大切に！



災害時要援護者への支援

災害時には高齢者や障害のある方等、避難するために支援の必要な方もいます。日頃のご近所付き合いの中で、支援の必要な方を知っておき、災害時には皆で助け合って支援しましょう。

また、災害発生時には、避難に支援が必要な方に正確な情報を提供することも大切です。

家具転倒防止対策の工事については、次の窓口で相談することができます。

NPO住宅相談コーナー(ノクティプラザ1地下1階 住まいの情報サロン内)^{※1}

☎ 044-844-7306

一般社団法人 川崎市建築設計事務所協会^{※1}

☎ 044-201-9201

公益財団法人 川崎市シルバー人材センター北部事務所^{※2}

☎ 044-980-0131

※1 一般的な金具による固定に対応します。工事は有料です。くさびやマジックテープによる固定など、一部対応できない場合があります。

※2 L型金具による固定のみ対応します。工事は有料です

下地探し器(下地センサー)を貸出します

このパンフレットで紹介した下地探し器(下地センサー)を麻生区役所で貸出します。

操作方法も説明します。事前に下記にご連絡の上、お越しください。

麻生区役所危機管理担当 TEL 044-965-5115 FAX 044-965-5201 メール 73kikika@city.kawasaki.jp



発行：麻生区役所企画課 平成 26 年 12 月

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

TEL 044-965-5112 FAX 044-965-5200 メール 73kikaku@city.kawasaki.jp

監修：明治大学理工学部建築学科 教授 園田 真理子氏

このパンフレットは、第4期麻生区区民会議からの提言により作成しました。